



絶滅危惧種「コウテイペンギン」の卵の中に新たないのちを確認！ 3回の検卵で「有精卵」と判定 ～いのちが宿る確率約28%の難関をクリア。9月末頃の誕生を予定～



日本で唯一※、10種類470羽のペンギンたちが暮らすアドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2026年7月23日（木）に産卵したコウテイペンギンの卵について、これまでに3回の検卵を実施し、有精卵であること、および卵内の胚が成長していることを確認しました。順調に発育した場合、9月末頃に孵化する予定です。

今回有精卵を確認したのは、今年6月から7月にかけて名前を公募し、8月に名前が決定したばかりの「パパ（E005）」と「ママ（E014）」のペアです。このペアは、2025年9月30日に当パークで4年ぶりに誕生したコウテイペンギンの赤ちゃん「よよちゃん（E044）」の両親です。

当パークでは、コウテイペンギンたちが極寒の南極で寄り添い、互いにいのちを守り抜く姿から地球環境の未来を考える「38℃ MIRACLE Project」を推進しています。一羽一羽のいのちと向き合いながら、自然繁殖による赤ちゃんの誕生を見守るとともに、人工授精による繁殖技術の研究にも挑戦し、コウテイペンギンという種の未来につながる新たな可能性を探求し続けています。

※2026年9月現在、公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）加盟園館において

今シーズンの有精卵について

■産卵日：2026年7月23日（木）

■親情報：オス「パパ（E005）」・メス「ママ（E014）」

産卵した卵は親鳥から預かり、孵卵器で大切に温めています。8月11日、21日、31日の計3回にわたり検卵した結果、卵の中に新しいいのちが宿り、成長していることを確認しました。

【パパ】識別番号 E005

オス 1997年生まれ

アドベンチャーワールドのビッグファザー。

生涯を通じて「ママ（E014）」と寄り添っています

【ママ】識別番号 E014

メス 1997年生まれ

これまでに16羽を産んだ、

アドベンチャーワールドのコウテイペンギン家族の偉大な母親





「検卵」とは

検卵とは、卵の内部を観察する方法で受精の有無や胚の発育状況を確認するために行う観察です。周囲を暗くした環境で専用の検卵器を使用し、卵の内部に胚の発育を示す変化が見られるかを慎重に確認します。極寒の環境で暮らすコウテイペンギンの卵は殻が厚く、内部の様子を観察することが容易ではないため、複数回にわたり検査し、発育の状況を丁寧に確認しています。



今シーズンの産卵状況について

今シーズンは現在までに、計7卵の産卵を確認しています。※自然繁殖と並行して人工授精も実施

区分	卵数	経過・状況
有精卵	2 卵	・ 7 月 2 3 日産卵 計 3 回の検卵で胚の発育を確認。 ペア：パパ（E 0 0 5）ーママ（E 0 1 4） ・ 8 月 6 日産卵 初回の検卵により有精卵であることを確認し、確実な判定に向けて継続的に発育状況を確認しています。 ペア：シャーク（E 0 2 7）ーえくぼ（E 0 3 2） ※並行して人工授精も実施
無精卵	5 卵	・ 7 月 2 8 日産卵 ・ 7 月 2 9 日産卵 ・ 7 月 3 0 日産卵 ・ 8 月 4 日産卵 ・ 8 月 1 3 日産卵 検卵により無精卵を確認

厳しい現実と向き合う：長年の繁殖研究と、コウテイペンギンの繁殖の難しさについて

当パークでは 1 9 9 7 年よりコウテイペンギンの繁殖研究を開始し、2 0 0 4 年には日本初（世界でも 2 園館目）となる赤ちゃんの誕生に成功しました。当初はスタッフが親代わりとなる「完全人工育雛」でいのちを繋いでいましたが、親鳥自身による子育て（自然育雛）を目指し、孵化後の赤ちゃんを親鳥のもとへ返す「初期人工育雛」へと技術を進化させ、2 0 1 3 年には初めて親鳥からの給餌にも成功しました。これまでの絶え間ない研究と実績により、昨年（2 0 2 5 年）誕生した累計 1 6 羽目の繁殖に至るまで、多くのいのちを未来へ送り継いでまいりました。

しかし、コウテイペンギンは高度な繁殖技術が求められる鳥類であり、産卵した卵が無事に孵化する確率は決して高くありません。長年研究を続けてきた当パークのこれまでの実績においても、産卵した卵が有精卵である確率は【約 2 8 %】、さらに有精卵が孵化に至る確率は【約 7 4 %】にとどまります。産卵イコール誕生ではなく、発生中止（受精卵が細胞分裂を繰り返して個体になるまでの過程が止まってしまうこと）や無精卵となる可能性が常に伴いますが、私たちはこの厳しい現実から目を背けず、ひとつひとつのいのちの可能性を最大限に引き出すため、長年培った飼育技術を注ぎ込んでいます。



あなたのアイデアと技術でいのちを育む。「初期育雛用ペンギン覆面」制作者を大募集！

当パークでは、親鳥による自然孵化や育雛が困難な場合、スタッフが親代わりに赤ちゃんを育てる「初期人工育雛」を行います。その際、人間を親だと勘違いしてしまう「刷り込み（人慣れ）」を防ぐため、スタッフはペンギンの姿を模した「覆面（帽子）」を被って給餌を行います。これまでスタッフの手作りで対応してまいりましたが、「視界が狭い」「通気性が悪く過酷」「よりリアルな質感が必要」といった課題がありました。「38℃ MIRACLE Project」が掲げる「社会全体で守る」ための新たな一歩として、ペンギン覆面の制作者を募る運びとなりました。「造形や裁縫が得意」「涼しい素材を知っている」「こんな構造にすれば使いやすい」など、皆様の得意分野やアイデアを、動物福祉と保全の現場で活かしてみませんか？プロ・アマ、個人・法人は問いません。未来のいのちと一緒に育む、温かいご支援とご参加をお待ちしております。



応募方法はこちら

https://x.com/aws_official/status/2089148621501636882?s=46

【地球の未来を考えるプロジェクト「38℃ MIRACLE Project」】

コウテイペンギンは絶滅危惧種に指定されており、世界でもアメリカ、中国、日本の3か国のみで飼育されている希少な種です。コウテイペンギンたちが極寒の地で「ハドル」を組み、互いに寄り添いながらいのちを守り抜くように、ペンギンの未来を守ることが、人・動物・自然、そして地球全体の未来を守ることにつながる。そんな想いを込めた「38℃ MIRACLE Project」を、当パークでは今シーズンより推進しています。

その取り組みの一つとして、2026年夏、パークで暮らす19羽のコウテイペンギンの名前を募集し、8月末までに一羽一羽の名前をすべて公開しております。それぞれの名前に込められた想いや、性格・特徴など、個性あふれるプロフィールもご紹介しています。ぜひ特設サイトからご覧ください。

▼「コウテイペンギンの名前募集」特設サイトはこちら

<https://www.aws-s.info/pennaming-emperor>